



夢想共創

洗淨・充填きな夢を持つことが出来、それに挑戦できる場所になる

パッケージイノベーション

リングマシン

J・P・F



私達は特別な技術で人が豊かでいられる未来を創ります

「知恵の経営」 認証企業インタビュー

株式会社 J・P・F

その経営判断、本当に正しいですか？

「知恵の経営」のススメ 2018.1-2版

— 「知恵の経営」とは —

多くの企業には、その強みの源泉となる「知恵」があります。こだわりの経営方針、独自の技術を担う人材、や経験の蓄積から培ったノウハウ、顧客との強いつながりなどです。

京都府では、中小企業の皆さまが、自社の知恵を新たな視点で見つめ「報告書」にまとめる中で、知恵を使って課題をまとめる中で、知恵を使って課題を克服し、経営を発展させるための支援を行っています。

— 「知恵の経営」府知事認証制度 —

各社の「報告書」を京都府知事が認証します。
(評価会は2か月に1回程度、随時受付)

＜認証ポイント＞ **次回申請締切 H30.1.15/3.9**

- ・知恵の評価 (強みの特異性・優位性・成長性)
- ・知恵の把握と活用 (強みを活かした戦略の実現性・市場適合性)
- ・知恵の開示 (強みの説明可能性と成長戦略の具体性)

— 「知恵の経営」のサポート —

商工会・商工会議所等の中小企業応援隊が「報告書」づくりをお手伝い。自社だけでは気づきにくい強みの掘り起こし、経営戦略の検討などに、一緒に悩み考え伴走支援を行います。ぜひご相談ください。

＜認証後のメリット＞
メルマガ等での支援情報提供、本チラシや府ホームページでの御社の広報、資金支援(文化産業振興資金)、販路開拓(チャレンジ・バイ)

人材確保のために
自社の魅力を
どう伝えるか！

受注を逃さぬために
生産性改革を
どう進めるか！

来るべき景気の波に
備え採るべき戦略は
何か！

問い合わせ先 京都府商工労働観光部ものづくり振興課(TEL:075-414-4851)

詳しくはウェブ「京都府の産業支援について」へ

人の未来を見据えた「HUA」と意外性豊かな「複合加工」で“夢想共創”を実現

株式会社 J・P・F（京都市南区）の田中丈治代表取締役様にお話をうかがいました。

機械装備の意外性による「複合加工」

－まずは、事業の概要を教えてください。

田中) 2005年創業、現在約20名で、鉄・アルミ・ステンレス等の金属部品加工、省力化機械装置の開発・製造を行っています。金属部品加工は、自動車関連や半導体製造装置関連が多く、試作から量産対応まで行っています。省力化機械装置は化粧品メーカー、製薬メーカー等で使われる充填、包装、検査機器等です。

－さて、「知恵の経営」に取り組んでいただき、御社の様々な強みを整理していただきました。まず、技術面の特長について、差し支えない範囲で教えてください。

田中) そうですね、「複合加工」と呼んでいるものです。当社は、ワイヤーカット放電加工機、マシニングセンタ、NCフライス盤などのほか、金属加工では珍しいロボドリルを有しています。例えば、ワイヤーカット放電加工機は高硬度の材料の加工ができ、複雑な形状でも高精度な加工ができるという優れたものですが、スピードが弱点です。ロボドリルは、一般には樹脂加工で使われることが多いことから分かるように、力は強くないのですが、高速で小径加工ができますし、当社では独自にプログラムをカスタマイズしたり工程を組む事で特殊加工が可能です。例えば、1つの部品に対して、穴加工等はロボドリルで、刃物として使用されるような尖った部分などの特殊なところはワイヤーカット放電加工機でといった具合に、組み合わせを行うことで、スピードと高精度を両立させているのです。



H（早くて）U（巧くて）A（愛想がいい）

－素晴らしい方法ですね。まさにQCDを両立させてらっしゃるわけですね。

田中) 当社ではHUAと呼んでいます。H（早くて）U（巧くて）A（愛想がいい）です。この3拍子が揃うとお客様に本当に喜んでもらえるのですが、実はこれを揃えるのは結構難しいのです。少し仕事が忙しくなると、人間ってどうしても怖い顔になったりしますよね。巧い職人気質のところは愛想が悪かったり、愛想が良いところは少し技術が弱かったりといったことが多く、この3つを両立しているところはなかなかないと自負しております。

－人間の本質的を突いたとても重要なポイントですね。社員の皆様をお見受けしているとよく理解できます（笑）

田中) 社員一人ひとりのモチベーションをととても大切にしています。同じことをするにしても、モチベーション次第で結果は全く異なりますよね。まず、できないことを指摘するよりも、できることをどんどん伸ばしていくようにしています。働く人たちは人間です。人それぞれ個性があり、会社の中にもそれぞれの異なる性格の社員がいるのですから、それを在りのまま受け入れるようにします。そして、ミーティングを敢えてたくさん行き風通し良くしたり、作業中でも談話できるような時間や空間を確保し情報共有しやすくしたり、工夫しています。



「知恵の経営」で「何のために生きているのか」まで掘り下げ辿り着いた「夢想共創」

－「知恵の経営報告書」で、お客様、地域、世界の先に「宇宙」という言葉が記されていましたが。

田中) はい。以前、中国企業から新たに受注した案件があったのですが、国内の協力会社の体制不備により取引先に迷惑をかけてしまったことがありました。それで、協力企業も含め社内の体制、マネジメントを再構築しようということで、「知恵の経営」に取り組んだわけです。そして「知恵の経営報告書」の作成の中で経営理念を追求していると、「宇宙」まで目を向ける必要があると感じました。

－そうだったんですね。

田中) 様々な自己内省、会社の内省を行っていった過程で、「そもそも何のために生きているのか、はっきり言えるか？」ということに辿り着いたのです。有名なスポーツ選手などならともかく、普通、なかなかそういうことをズバツと言え人って少ないと思うのです。そこで、この会社を「大きな夢を持つことが出来、それに挑戦できる場所」にしたいと思い、「夢想共創」を企業理念に掲げて、その為の「私達は特別な技術で人が豊かになれる未来を創ります」という経営理念の道を歩んでいます。

中古機械を譲り受けて創業、そして協力工場も巻き込んだ新たな挑戦へ

－創業された経過について教えてください。

田中) 勤めに出ておりましたが、祖父も父も親戚も金属加工の会社を経営していたこともあり、自分もいつかは経営者になりたいと思っていました。ちょうど、1人で商売されていた方が会社を閉めると聞き、会社にある機械や道具を譲っていただいて、20坪の貸工場を借りて、そこに機械を据えてスタートしたのです。

－なるほど。

田中) 自分が機械の前に立ち、最初は未熟な腕で部品の加工をして、伝票を書き、納品をし、少しずつ腕も上達し、人を雇い・・・こうして少しずつ会社の規模を大きくしてきました。京都産業21の設備貸与事業も利用させていただきましたね。今、おかげさまで、仕事が多く、協力企業様の力も借りなければとても回らないくらいです。

－素晴らしい。そして今、「知恵の経営」の動機でもあらわれる、協力工場も含めた体制づくりについて、新たな挑戦を始められましたね。

田中) はい、ぜひこれを成功させて、生産性向上を図り、お客様からの要望にもっと応えていけるようになりたいと考えています。